

神谷中学校

学校教育目標

郷土を愛し、心豊かで、自ら考え行動できるたくましい生徒の育成

目指す生徒像

- ☆ 自ら意欲をもって学習に取り組む生徒：知
- ☆ 思いやりがあり互いに協力しあう生徒：徳
- ☆ 健康でたくましく活力のある生徒：体
- ☆ 郷土の自然や文化を探究する生徒：郷土

神谷中学校では、今年度も22名の生徒を中心に、保護者や地域の皆様のご支援とご協力をいただき、学校と地域が連帯する取組を進めています。今回は、2学期の主要行事である第2回神谷小・中学校なかよし運動会についてご紹介します。

当日は晴天に恵まれ、朝早くから生徒も登校し、やる気みなぎる魂の運動会になりました。本年度のテーマは「スマイル」です。生徒一人ひとりの競技や係活動を懸命に取り組む姿勢が地域の方々から「運動会で元気をもろうた。」「次は地区民運動会でも走ってもらわにゃいかん。」などと感動を呼び起こしました。また、妹・弟分にあたる小学生との競技は良き姉、兄として細やかな配慮やリードをしながら勝利に向かってひたむきに取り組む姿が見られ感涙する観客もいました。

生徒たちには、日々教職員に叱咤激励を受け、喜びやしんどさを仲間と共有して、青春の汗と涙を流し、夢に向かって一人ひとりがジャンプできるようになってもらいたいと考えています。

毎年少しずつ生徒が減少していますが、日本でオンリーワンのユートピア（理想郷）のような学校づくりを目指して教職員一同心をひとつにして励んでいきたいと考えています。今後とも、子どもたちのやる気、元気、行動力にご声援並びに熱いまなざしを注いでくださいますようお願いいたします。



いの町で生産されている新高梨の良さを知ってもらうことを目的に、10月14日伊野南小学校4年生(57名)を対象に梨の出前授業が開催されました。

高知県中央西農業振興センター職員の方から、いの町及び高知県の果物の現状を説明していただき、町内の梨生産農家の森沢豊和さん(八田)と森本巖さん(小野)からは梨の栽培方法などについて、生産者の苦労話を交えて説明していただきました。



梨博士になろう！

梨の出前授業が開催されました

続いて伊野町農業協同組合の方の指導のもと、実際に糖度計を使って糖度を測定し、どの部分が一番甘くて、どういう食べ方がおいしいのかなどを指導していただきました。生徒たちは「おいしい」と大喜びでした。

今回の取組を通して町内で生産されたもののすばらしさを知ってもらうことができたと思います。また今後、地産地消の推進にもつながっていくことを大いに期待します。(産業経済課)

